

地域とともに…
コミュニティ末広
<http://suehirodayori.seesaa.net/>
だより



Vol.89 平成 29 年 3 月 25 日発行

発行部数 3,000 部 (末広小学校区内)
 編集・発行 コミュニティ末広 広報部

6年生を送る会

3月3日(金)、末広小学校校庭で今年も餅つきを行いました。ほとんどの児童が未体験で、力強くお餅をつく児童、お餅の表面をなでるようにつく児童など、みんな笑顔で楽しみました。今年、食中毒防止対策として、ついたお餅を一旦茹でてから「きな粉もち」と「みたらし」にして児童に振る舞いました。



**まち協のポータルサイト
 がオープンします！**

宝塚市内にある、概ね小学校区を単位とした20のまちづくり協議会では、地域の課題を解決し、自分たちのまちが住みやすくなるよう、見守りや清掃活動、お祭りや防災など、日々精力的に多様な活動をされています。

地域に住む皆さんの中には、こういったまちづくり協議会の活動を、誰が、いつ、どのように行っているのか、もっとよく知りたいという方もいらっしゃるかもしれません。

まちづくりにかかわる人が増えれば、まちも良い方向に変わっていくはずですよ。

そのためには、情報発信と情報公開によって安心と信頼を得ることが重要になります。

そこで、まちづくり協議会をもっと広く知ってもらう、新しくかかわってみたいという人を増やしながら、これまで以上に住みやすく、魅力ある地域をつくるために、宝塚市と宝塚NPOセンターは協働で、インターネットを活用した「情報発信のための拠点づくり」を進めています。

そこには20のまちづくり協議会が集

まり、まちづくり協議会についての資料やブログ記事を読むことができます。うになります。

拠点となるホームページの名前は、「宝塚市みんなのまちづくり協議会」です。平成29年4月から「宝塚市公式ホームページ」にリンクが作られ、見に行けるようになりますので、ぜひご覧ください！

(認定) 宝塚NPOセンター

馬越康弘



制作中のトップ画面

広告募集!

1枠(6cm×6cm) **3,000円**

この広報紙に広告を出しませんか!
 年3回発行

末広小学校校区内
 全戸配布(3,000部)



お問合せ
suehiro_comyu@yahoo.co.jp

総合防災訓練のご報告

平成28年12月11日(日)10時より末広小学校で総合防災訓練が行われました。

訓練内容は、防災学習会・避難誘導訓練・耐煙訓練・段ボールベット組立て・避難時仕切り枠組の組立て(実地見学)・簡易防水工の組立・校内避難対象教室の見学・炊き出し訓練・防災グッズの展示でした。(注)防災学習は環境防災総合政策研究機構 理事 宇井忠英先生から講義をしていただきました。

実施の効果としては、地域の防災力を向上させるとともに各家庭での被災時の心得、防災対策の準備に有効でした。また、各自治会の災害時支援のあり方を検証できました。

アンケートの結果、参加者は、伊志71名(61%)・逆瀬川11名(9%)・サンハイツ8名(7%)・スカイハイツ7名(6%)・シティハイツ5名(4%)その他・不明14名(12%)でした。

参加者の年齢は70歳以上49名(44%)・60歳代29名(26%)・50歳代16名(14%)・20~40歳代13名(12%)・小学生5名(4%)でした。

60歳以上が70パーセントを占め、高齢者の参加が圧倒的に多く、若年者

児童の参加がほとんどありませんでした。参加者による訓練の評点は、5点28票(30%)・4点52票(56%)・3点12票(13%)・2点1票(1%)で、主催者への心配りが加味された評点と考えても、訓練の意義は理解され、評価されたものと思われま

す。訓練別の評価ですが、今回実施した訓練で一番評価されたのは、「校舎の見学」でした。40名の方から良かったとの評価をいただきました。次いで「段ボールベットの組立」が29名、「防災学習(南海トラフの巨大地震に備える)」が22名、「耐煙訓練」が20名から評価をいただきました。「仕切り枠」「防水工法」はともに9名でした。

今回の訓練で良かったと評価した理由は、「訓練を体験(勉強)できた」「訓練内容の要領が判った」「知識も蓄積できた」が大部分ですが「配布されたパンフレットが良かった」「自分に備蓄がないことを認識できた」「防災

用具の使



安心してください!本物の煙ではありません!

い方が判った」「阪神大地震を思い出し、備えの大切さを再認識した」などの理由が挙げられました。



とっても丈夫なダンボールベッド

また、今回の訓練での改良(修正)すべき点も指摘いただきました。

①各訓練が平行して実施され、参加する訓練の選択は各自にまかされたため、各訓練のリーダーが必要。②室内外での訓練のため、体育館入り口で「靴の脱ぎ履き」が数回必要になり、移動の流れが停滞してしま

った。③訓練の実施日が12月中旬で体育館内は寒かった。④訓練の事前説明がなく、段ボール組立、仕切り枠組立、防水工の置き方が判らなかつたので、みんなが取りかかると説明が欲しかった。⑤避難する時の集合時間の通知が不徹底であった。⑥講義の時間が短く、スクリーン、音響にも改善の余地がある。

あと、耐煙訓練に、参加できない方が多く居られた。

この他にも、「参加人員の増強策が

必要」「若い人、子どもの参加が少ない」「車椅子の方の参加が少ない」「自治会の取り組み強化が必要」「幅広い方の参加を得る方法の検討」など。

次回訓練への要望としては、①末広小学校以外の避難所の選択と自主防災の啓発。②消火訓練、多くの防災グッズの展示、AEDの取り扱いを訓練に入れる。③ペットの同行避難。④性被害を防ぐ避難所運営訓練。⑤これまでの地震、水害、豪雨などの実状とその対応法の話が聞きたい。⑥台風、大雨の被災説明をお願いしたいなど、たくさんの方の意見をいただきました。これら

の意見を、今後の活動に活かしていきたいと思

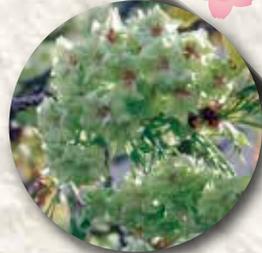
最後に、ご協力いただきましたひょうご安全の日推進県民会議・宝塚市総合防災課・宝塚市西消防署・宝塚市末広小学校・コミュニティ末広地区内各自治会の皆さまに御礼申し上げます。



桜マップ

寒かった冬に別れを告げ、陽気な気候とともに満開の桜を眺める。
 「日本に生まれてよかったー！」ってワクワクしますよね。お花見の名所を訪ねるのはもちろんですが、ご近所でお気に入りの桜を見つけるのも楽しいものです。

「ギョイコウ」
 末広小学校の北門にある緑色の桜です。校内敷地は関係者以外立ち入り禁止ですが、武庫川沿いの道路を歩きながら眺めることができます。



末広小学校

末広中央公園



御衣黄 (ギョイコウ)

ソメイヨシノ



伊和志津神社

ソメイヨシノ

鬱金桜 (ウコンザクラ)

「ウコンザクラ」
 咲き始めのウコン色からピンク色に変わるユニークな桜です。お釈迦様の誕生日を祝う花まつりで有名な平林寺にも立派な桜の木がありますが、ギョイコウと同じようにとっても珍しいウコンザクラ、探してみませんか？ 平林寺には塔頭寺院が四つあり、お隣の宝塚神社とともに桜を楽しみながら散策できますよ。



牡丹桜 (ボタンザクラ)

平林寺



宝塚神社



ソメイヨシノ



募集&お知らせ

福祉健康部

3月8日の会食会で平成28年度、最後の事業も無事終了しました。

次年度も部員全員で相談し、楽しい事業を企画しますので、たくさんの方の皆さまのご参加をお待ちしております。



第一部会

毎年ご好評いただいております「寄せ植え」を左記の要領にて開催いたします。

■日時：3月26日(日)

14時～(受付13時30分)

■場所：ドリーム末広(末広小学校校庭)

■講師：花車さん

■費用：500円

(花代込・当日集めさせて頂きます。)

参加ご希望の方は、3月23日までに

「寄せ植え参加」とお書きいただき、

お名前・ご住所・お電話番号をご記入

の上、0797-72-2130(伊

藤)までFAXをお送りください。

皆様のご参加をお待ちしております。



過去に行われた時の様子

まちづくり協議会コミュニティ末広第一部会 講演会開催のご報告

■開催日時 平成28年12月5日(月) 13時～15時
 ■開催場所 アピアホール(アピア1 5階)
 ■参加人員 約60名

第一部 地域包括支援センターの役割と活用の仕方

1)「包括紹介(業務内容・相談傾向など)」 講師 社会福祉士 大浦幸生

地域包括支援センターの仕事は宝塚市健康福祉部高齢福祉課から業務を委託しています。本地区(第2地区)は、市内で人口、高齢化率がトップです。高齢化率は全国では26.7%ですが宝塚市は26.5%、第2地区は30.2%です。包括の仕事は、次の通りです。

- ①介護予防保険と要支援1, 要支援2のケアマネージ
- ②総合相談支援
- ③権利擁護(認知症が多くなっている。多くの問題に波及している。消費詐欺など)
- ④地域の役員さん等への指導

2)「包括の活用方法(手段・介護保険における位置づけ)」 講師 保健師 金藤三恵子

相談の方法は①電話相談 ②訪問相談 ③来所相談があります。相談者の希望により選択して下さい。相談内容は介護に関することがほとんどですが、物忘れが早期に判るようになりました。

●お問合せは、逆瀬川地域包括支援センター 電話0797-76-2830にお願いします。

第二部 宝塚市社会福祉協議会地区センターについて 講師 大関可奈子

1人暮らしの高齢者や障害者が利用できるシステムを紹介いたします。

①緊急通報システム

緊急時に機器のボタンを押すと緊急通報受信センターに通報されます。受信センターでは、利用者のお宅に確認連絡をして、緊急の場合すぐに救急車に出動要請をします。利用者に対応出来ないときは、あらかじめ登録していただいている福祉協力員の方へ電話連絡して、確認をしていただきます。電話につなぐ機器の貸し出し費用は、前年度の所得額に応じて宝塚市役所が決めます。

②福祉電話

「いかがお過ごしですか」と民生委員が決まった曜日の午前中に安否確認の電話をします。対象は外出の機会や訪問者が少なく、安否確認が必要な70歳以上の方(原則として外出の機会や訪問者が週3回以下の方)日頃からの福祉電話協力者や民生委員など近隣の見守り体制の作りを目指しています。

●お問合せは、①②は宝塚市社会福祉協議会 よりあいひろば 電話0797-74-3690に、また②はお住まいの地域の民生児童委員でも対応致します。

